

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 桐原郷 ごりちゃんのおうち			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日 ~ 2025年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数)	24人
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日 ~ 2026年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動の内容	集団活動の内容を5領域にあてはめて取り組んでいる地域の方との交流や、自社の畑での農業体験や、育てた野菜を生かした食材をつかったクッキングに取り組んでいる	利用者の成長に伴い、活動内容の見直しや課題の工夫をしていきたい
2	外出活動・買い物支援	公共の場への外出活動を計画的に組み込んでいる自分の物を予算内で買い物をする体験を取り入れている	公共の交通機関の利用なども視野に入れて計画を立てていきたい
3	基本的生活スキルの獲得	来所後のスケジュールで、身支度や自身の持ち物の管理などが身に付くように取り組んでいる	出来るようになったこと、頑張っていることを保護者と共有することで、子どもたちの意欲が高まるようにしていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援・療育の方法についての方向性について	支援内容や、実践方法について話し合う時間不足	定期的な会議だけでなく、個々の利用者の課題について掘り下げて話し合っていく時間の確保職員間で共通認識がもてるような仕組み作り
2	個人面談の充実	面談の時間を午前中に設定しているが、就労されている方には、難しいのかもしれない	保護者への個人面談の目的を説明し気軽に相談に応じれる体制作り面談時間の、柔軟な対応
3	子どもの個人面談の充実	他の利用者を気にしないで、面談できる時間と場所を確保することが難しい	下校時間が早い日などを利用し、個々に想いを聞く時間を設けていきたい

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		2025 放課後等デイサービス桐原郷ごりちゃんのおうち						
		公表日 年月日 2026年2月13日						
		利用児童数		32		回収数		24
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		3		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	4		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24				夏に蚊が多いので嫌だ	事業所内の防虫対策を検討 戸外に出る時には虫除けスプレーをするなどの対応をしている
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1		3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1		2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	15	3		6		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	1	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	7	1	6	時間帯の融通が利くと助かる	いろいろな研修会等の情報提供をしていきたいと思います
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	5		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	3	10		保護者とも意見を交換し、どのような形での交流をしたら良いか検討していく
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		1		

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	4				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2		1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2		1		管理・取り扱いには十分注意しています
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		6		保護者の方にも周知していただけようお知らせしていきます
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	2		10		様々な災害を想定し避難訓練を行っています
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	16	4		4		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		3		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	22			2		今後も子ども達・保護者の方に寄り添い支援を行っていきます
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	1	2		検討していきます
	29 事業所の支援に満足していますか。	22	1	1		おやつが軽食ではなくお菓子の割合を増やしてほしい	引き続き職員の質の向上を図り、適切な支援提供をしていきたい

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
事業所名		2025 放課後等デイサービス桐原郷ごりちゃんのおうち				
		公表日 2026年2月13日				
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	活動に応じて使用スペースを区切るなどしている		限られたスペースを有効に利用できるよう環境を整えていく
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3	定められた人数で配置している		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3			構造的に難しい面もあるが、安全に過ごせるように配慮している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	日々の活動に【そうじ】を取り入れ清潔に過ごせるようにしている子どもの活動に応じてスペースを分けるなどしている		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	4			クールダウンをするスペースが確保できにくい 又、活動量の多い子が発散できる場所がない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	3	限られた時間の中で意見を聞くようしている		できるだけ多くの職員が参加できるようにする
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	評価表の結果を受け、日頃の業務の振り返りを行う		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	個別面談を設けて職員の意見を聞きできる事から改善に取り組んでいる		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	8			保護者・事業所内で行っている第三者については検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	1	オンラインや研修会場へ行き研修に取り組んでいる		
適切な支援の拠	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	ホームページにて公開		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	利用前の見学や定期的なモニタリング等で保護者からの要求をふまえ計画を立てている		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	1	支援記録や職員間の意見の聞き取りを元に担当者会議を行い作成している		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	職員会議・ミーティング等で共有し支援を行っている		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3	定期的なモニタリングと必要に応じて個人面談を行って対応している		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	2	児発管を中心に支援内容の設定を行っている		個別の支援内容の具体化に取り組んでいく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	3			日々のプログラムの見直しや長期的なプログラムの見直しを検討
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	3			子ども達の成長に合わせて見直ししていく

供 給	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	4	子どもの状況に応じた個別・集団活動を組み合わせ支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	4	限られた時間を有効に使い振り返りを行っている 個別に声をかけるなどして工夫をしている	出勤時間の違いで支援前に全員揃う事が難しい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	8	限られた時間を有効活用し取り組みに励んでいる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1		記録を基に振り返りや支援の方法を検討していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1	6ヶ月ごとのモニタリングを行い見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	2	日々の日課・創作・余暇活動・季節の行事を取り入れている	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	3	いくつかの中から活動を選択するなど工夫をしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	管理者や児発管を中心に参加している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		準備中です
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	2	主に送迎の時に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	3	保護者の了承を得たうえで対応している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	4		今まで該当する児童がいなかったが、今後に備え準備をしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	3		今後検討していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	11	1	地元の児童館の行事に参加するなどし、交流している	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	11	1	可能な限り参加している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	1	日々の連絡帳の活用	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5		保護者支援の一つとして検討中
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	2	契約時に行っている	
支援 の 方 法	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	契約時に行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	契約時に行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	必要に応じて面談等を行っている	

保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	8		開催時期や内容など検討していく
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	管理者や児発管を中心に対応必要に応じて面談を行う	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	毎月の通信にてお知らせしている	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	大切な話をする時は時と場所を選ぶようをしている	個人情報にあたる事柄について研修していく
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	1	口頭・文書・直接対話などその時に応じた対応をしている	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	1	招待はしていないが交流の機会は設けている	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	3		保護者への周知の方法を検討していく
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	4	訓練を行うようにしている	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	契約時に行っている その後も定期的に情報共有をしている	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1		定期的に見直しが必要
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	3	事業所内で訓練を行っている	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	3	緊急時の連絡先の確認を行っている	個々の家庭環境に応じた確認作業を行っていく
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	2	危険な事例があった場合ヒヤリハットを職員会議等で取り上げ再発防止に努めている	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	2		全職員が一度に参加することは難しい動画をかつようするなどの検討をしていく
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	3	身体拘束に関しては利用者の安全を最優先とし職員の共通認識としている 身体拘束を行った場合には記録に残すようにしている 保護者の方にも契約時等に説明をしている	